

With Mount Iwaki in the background, Lake Tsugaru Fujimiko is defined by the elegant reflection of the bridge's arcs that run across the lake. Under the bright blue sky, the changing seasons make the lakeside a place of scenic beauty. Swept by the wind of nature, its history and culture, it makes for the ultimate nature spot.

季節の色を映して 「津軽富士見湖」散策記

津軽富士見湖／富士見湖伝説／鶴の舞橋／富士見湖パーク／丹頂鶴自然公園／鶴の里ふるさと館

岩木山を背景に鶴の舞橋が優美な弧を描く津軽富士見湖。

光輝く青空の下、四季折々の色彩を映す風光明媚な湖畔は、自然や歴史、

文化の風が薫る魅力満載のグリーンリゾートです。

湖畔からの招待状

季節の色を映して「津軽富士見湖」散策記

鮮やかに、賑やかに。
四季折々に彩りを変える、
湖畔の風に吹かれて。



津軽富士見湖

岩木山の山景と、
四季の彩りを映して

岩木山の雄大な山景を湖面に映す「津軽富士見湖」は、万治3（1660）年に築かれた県内最大の貯水湖です。へら鮒の宝庫として、また多くの野鳥がさえずる美しい景観から、平成22（2010）年に農林水産省の「ため池百選」にも選ばれています。桜の花々が彩りを添える春、湖面をわたる風が涼を誘う夏、赤や黄の衣装をまとった木々に抱かれる秋、銀世界に渡り鳥が賑やかに戯れる冬。岩木山と湖畔の豊かな自然が織りなすアンサンブルは、四季折々に美しい旋律を奏でています。



富士見湖伝説

美しくも悲しい
白上姫の物語

この湖には龍にまつわる伝説が残っています。その昔、隠里の白上姫という娘は、この地を治めていた清水城の城主・間山之守忠勝と恋に落ちます。しかし忠勝は、豪農の媒酌で他の女性と結婚してしまい、悲しみのあまり湖に身を投げ、その深い遺恨は白龍になったといえます。城に向かって湖水を渡る白龍の

話を伝え聞いても忠勝は一笑に付すばかり。しかし、しばらくすると藩士を呼び寄せては切り捨てるようになり、ついには愛妻を殺して、大溜池に身を投じてしまいます。これを嘆いた田村武右衛門とサイカチ集落の人々が戸和田神社を建立し、心を込めて二人を供養したところ、魚のいなかった大溜池に鮒や鯉の姿が見られるようになったとい

われています。やがてこの大溜池は津軽新田の水源地となり、戸和田神社の戸和田様は豊作の神様としてまつられるようになりました。一途に忠勝を愛した白上姫と、女の魔性に取りつかれた忠勝の悲劇は、村人の温かな心とともに、美しくも悲しい物語として現代に語り継がれています。



- ① 鶴の里ふるさと館
- ② 丹頂鶴自然公園
- ③ 鶴の舞橋
- ④ 富士見湖パーク

満水面積
281ha
貯水量
1,100万m³
堤長
4,178m(日本一)



「鶴田町受けたい授業プロジェクト2013」で制作された版画作品(抜粋)

With Mount Iwaki's magnificent shadow reflecting on the lake, "Tsugaru Fujimiko" is the prefecture's largest lake used for irrigation for the nearby farms. A treasure chest full of carp and birds singing by the lakeside, it has been picked as one of the top 100 ponds by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries. Though the lake exuberates abundant beauty, it comes with a heartrending folklore. In ancient times, there was a princess by the name of Shirakami who suffered a broken heart by the Lord ruler of Tsuruta Town. As a result, she committed suicide by drowning herself in the lake. Her grudge transformed into a white dragon and made the Lord suffer for the rest of his life.

The bridge that goes across the lake is 300m long and is the longest wooden, three-stranded arched bridge in Japan. This bridge is called "Tsuru no Maihashi". Beside the lake is Fujimiko Park, which has Japan's first ever 360 degree slide, barbecuing areas and many other facilities. On the opposite side of the park is the Japanese Crane Nature Park, where you can see beautiful cranes up close. Furthermore, at the "Tsuru no sato furusato" center, there is a reconstructed house representative of the early Meiji period, where you get to see and experience how people lived during those times.



丹頂鶴自然公園
つがいの鶴が
人気の縁結びの
スポット

鶴の舞橋を挟んで富士見湖パークの対岸にあるのが「丹頂鶴自然公園」です。鶴を活用したまちづくりを進める鶴田町で、本物の丹頂鶴が見られる場所をとの町民からの声を受け、平成5（1993）年に中国黒龍江省から2羽の鶴を譲り受け鶴の飼育が始まりました。平成24（2012）年には鶴田生まれの鶴も誕生し、平成27（2015）年現在、9羽の鶴の優雅な姿を楽しむことができます。仲睦まじいつがいの鶴が見られることから縁結びのスポットとしても人気です。

鶴の里ふるさと館
明治初期の
暮らしの資料館

丹頂鶴自然公園から遊歩道へと足を進めていくと、趣のある茅葺き屋根が見えてきます。この建物は明治時代初期の民家を移築した「鶴の里ふるさと館」です。内部には座敷や居間、土間、馬小屋、かまどなどが再現されています。また農具などの用具も展示され、当時の暮らしの様子にふれることができます。



春夏秋冬、さまざまな表情を見せる
津軽富士見湖。その湖畔は語り尽くせない
魅力に満ちあふれています。



鶴の舞橋
日本一の長さを誇る
優美な鶴の木橋

そんな伝説に満ちた湖面にかかる橋は、日本一長い木造三連太鼓橋「鶴の舞橋」です。全長300m、総ヒバ造りのこの橋は、自然環境や景観との調和を保つため、橋脚に樹齢150年以上の青森ヒバを使用し、日本古来の建築技術を駆使してつくられています。また、橋

のデザインはつがいの鶴が飛翔する姿をモチーフにしています。夜明けとともに湖面に浮かびあがる幻想的な橋の姿や夕日に色づく橋の佇まいは、四季の美しい景観とともに圧巻です。渡れば「長生き」できる長寿の橋としても知られています。



富士見湖パーク
遊び心いっぱい
ふれあい公園

津軽富士見湖の湖畔には、12.4ha（東京ドーム約2.6個分）もの広大な敷地を誇る「富士見湖パーク」があります。パーク内のわんぱく広場からは子どもたちの元気な歓声が聞こえてきます。なかでも日本初の360度ループのローラー滑り台は子どもたちの人気の的です。また、バーベキューが楽しめるピクニック広場や、色とりどりの花が咲き誇る町民広場、数々のイベントが催されるお祭り広場なども整備されています。春には桜祭り、夏は花火大会と、季節の彩りを楽しめる憩いの場としても親しまれています。

